

JWTC NEWSLETTER

Vol.29 No.3 December 2009

■第2回勉強会－ホテル見学会■

シャングリ・ラ ホテル東京

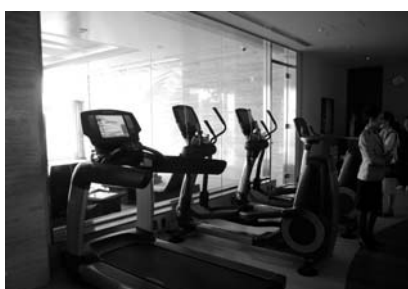
2009年10月3日(土)



今年の3月に東京に進出した最後のデラックス・ホテルとして話題の「シャングリ・ラ ホテル東京」の見学会が行われました。当日の参加者はJWTCメンバー17人とビジター3人。合計20人が2つのグループに分かれ、ウェディングチャペルやバンケットルーム、客室、レストラン、スパなどをゆっくり見学させていただきました。

最初に拝見したのがウェディングチャペル「ザ・パピリオン」。「ヘブリーウェディング」をコンセプトに作られた地上27階から29階までの吹き抜けのらせん階段が印象的な、ブライダル専用フロアにチャペルがあります。ドアを開けたとたん、丸くて白い部屋が目の前に現れ、荘厳な美しさに一瞬身体が震えました。丸い部屋の中央に十字架、そして左手にはパイプオルガンとハーブがしつらえてあります。美しい白いカーテンと天空からの雫をイメージした丸い華やかなシャンデリア、そして白い大理石の床に敷かれたスワロフスキーのラインが煌いていました。参加メンバーの目は夢見心地。そして感嘆の声が漏れていました。

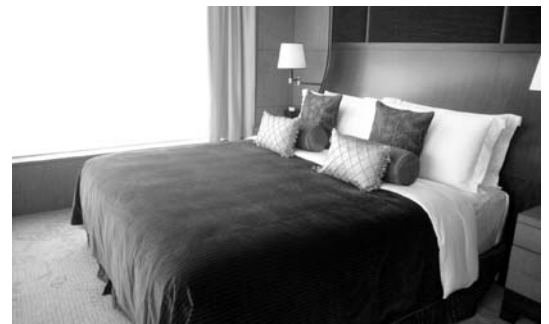
ウェディングチャペルの床だけでなく、例えばドアの取っ手など、バンケットフロア全体にスワロフスキーがふんだんに使われ、その煌きは、まさに地上の楽園を思わせます。



29階のスパは「氣」がテーマ。東洋の神秘を感じさせる落ち着いた空間で、心と身体が癒される…想像ただけで幸せな気分になります。スパはビジターも利

用できますが、プールやトレーニングマシンを完備したトレーニングジムは宿泊者のみに限定され、差別化によるサービスを図っています。

客室も桃源郷のイメージを重視した落ち着いたインテリアと設備です。バスルームとベッドルームはガラスで仕切られ、空間の広がり演出。3つのタイプの部屋を見せていただいたメンバーから、価格、稼働率、客層(用途)、ハンディキャップ対応など、専門的なことも含め、JWTCらしいさまざまな質問が出されました。



客室見学後は待望の昼食会です。ホテル内の和食レストラン「なだ万」で、JWTCのために特別に用意いただいた和食コースを楽しみました。使われている器がどれもこれも素敵。もちろんお料理も、栗ご飯を含む数々の秋の味覚が本当においしく、参加者全員が幸せな時間を過ごしました。

三好一美

パイロエンタープライズ



働く女性のための食生活

2009年8月27日

講師：高城 順子先生

(女子栄養短期大学食物栄養卒業栄養士、料理研究家)

NHKの今日の料理などで活躍されている高城先生から、私たちが最も関心のある「健康」「アンチエイジング」「ダイエット」などのお話が聞けるという期待感でいっぱいの中で、始まりました。



高城先生のお話は大変に分かりやすく、明日からでもすぐに実行できそうだと思います。今回ご出席できなかったメンバーのために講義の内容をいくつかご紹介します。

まず基本的に日本人はカロリーの摂取量が多すぎ、逆に足りないのが、カルシウム。ヨーロッパではカルシウムを含む硬水を飲用していますが、日本では軟水を飲んでいること、乳製品の摂取量が少ないことが大きな理由です。女性ホルモンが減ることによって起こる骨粗しょう症の予防にはカルシウムが多く含まれているじゃこ・にぼし、青菜・ホウレンソウ、豆腐などを摂ることで、やはり乳製品が一番とのこと。

また、重要なのは野菜の摂取。日本人は腸が長いので腸をきれいにしておくために、たくさんの食物繊維が必要ですが、肉やお米に比べて体内にたまらないので、毎食ごとに必ず野菜を摂ることがおすすめです。ゆでる、煮る、炒める場合は

片手一杯、生野菜の場合は両手一杯の量を、1種類ではなく数種類を摂るのが効果的とのこと。と言っても、働いている私たちは朝摂れなかった野菜を夕食で摂ろうとしても、いったん外に出てしまうと予定が変わったりとなかなか難しいの



で、まずはリコピンが多く含まれるトマトを1日1個摂るように心掛けてください。そして、野菜をよく噛むことによって満腹神経が刺激されるので食べ過ぎない効果もあるそうです。

また、タンパク質は若い人ほど足りていないようですが、何ともしっかりと摂取量が多いのが60代とのこと。

とにかく大事なのは「気を付けて食べる」と「朝食を摂ること」です。カロリーを摂り過ぎたと思ったら、翌日の食事は油を使わないなどで調整すること。朝食は最低限バナナと牛乳を摂ることをおすすめしますが、チーズ入りのパン、トマト、完全タンパク質のたまごを加えればなお良いそうです。

「今日の食事が10年後の私たちの身体を作る」と伺い、私たちの一番大事な食生活をおろそかにしないで、いつまでも健康で若々しくいたいものだと思います。

根本 恵 ホテル グランパシフィック LE DAIBA

◆参加された皆様のご感想◆

- 「今の食生活が10年後の体を作る」ということだと毎日の食事を更に真剣に考えなければと思います。トマトは栄養価が高く、がん抑制にも効果が高いのが魅力です。 田邊真利子
- 最近の食生活で野菜不足を痛感しました。 三好 一美
- 季節のお野菜や噛み方等とても勉強になり、働く女性としてコントロールできる朝食の活用が心に残りました。(ビジター)
- 朝食にトマト、卵、チーズ、牛乳……明日から早速実践したいと思います。また、子供のためにもカルシウム、ミネラルのとれる食事を心がけたいと思いました。(ビジター)
- NHKの「きょうの料理ビギナー」いつも楽しく拝見してました。先生に実際お会いできてうれしかったです。(ビジター)



☆☆☆名古屋支部便り☆☆☆

JWTC と私

「旅行業は華やかに見えるが、利益率がこんなにも低いものなのか」と言われたことがあります。

言うまでも無く、厳しさは皆さんが体験し、感じられている通りです。私は転職し旅行業に入り、仕事を覚え、旅行業の楽しさを感じたころでした。厳しさを知るのは、社員一人となってからでした。不景気で人件費は、直ぐに削減となったのです。500名ほどの社員がいる企業のために創設された旅行会社です。そのため、社員が一人という状態でも経営が続けられています。

一人ということは、周りを気遣うことなく、自分のペースで仕事ができます。仕事は親会社とその関連会社、社員からの仕事があります。あせることは何一つありませんでした。

しかし、アンテナが1本であるため、貪欲に立ち向かわないと情報が入ってこなくなります。それが正しいのか、判断をしてくれる人がいません。モチベーションを高く持ち続けることが難しくなります。煩雑な仕事に、自分は何がしたいのか？この会社をどうしたいのか？と自分の位置を見失うこともあります。悪循環は、どんどん悪循環を押し進めます。

孤立していくようで、不安とともに仕事をしていいたとき、JWTCと出合いました。「こんな会があるのよ」と。ビジターとして参加しながら、名古屋支部10周年の記念パーティーが開かれた翌年、正式に入会しました。初めのころは、旅行会社とは言えないような会社に勤める私でいいのだろうか？緊張の中、私は何をすればいいのか？会の意義さえも分からずにいました。

ただ、人とのつながりを持つことで、安心感を覚えていました。そして皆さんとの関わりを深めるごとに、先輩方々の偉大さに気づき、尊敬し、今では私の道しるべとなってくださっています。

東京での総会に初めて出席したときは、圧巻でした。互いの意見を述べ合い、熱心さを直に感じることができました。計り知れない時間とともに、地道な活動を積み重ねてみえたからこそ、他者からも認められ、尊敬される立場となる。そんな方々と、関わりあえることに意義があり、関わりを広げることが大切と思えるようになりました。刺激あふ、そして共に活動するうえで進むべき道もおのずと見えてくる。そして成長し合えると、私は信じています。

名古屋支部では、12月に第3回勉強会「マカオ ディスティネーションセミナー」を実施します。そして、来年は名古屋支部20周年を迎えます。会員相互の交流をさらに深め、ともに成長できる関係を築いていきたいと思っています。 草次昌子 リッチトラベル



ヨーロッパ雑感

二宮 由起子

ジャーナルパックインターナショナルヨーロッパ

前号の坂本さんよりご指名を受け、今回原稿を書くことになりました。

一体何を書いたらよいか考えがまとまらず、とりとめない内容になりますことをご容赦ください。

社会人になり、初めて就いた職業が旅行業で、最初の約3年はカウンター業務でした。あれから約20年近くたちます。途中、学生に戻り、スペインの地で暮らし、現在のヨーロッパオペレーター業に携わるようになりました。不思議なもので、スペインとのかかわりが、私を旅の道へ呼び戻したようです。

スペインやヨーロッパを中心にこの十数年の旅行業の環境は大きく変わりました。スペインから帰国したころ、ヨーロッパの国々はまだ国ごとに通貨が異なり、いつも頭の中で通貨換算をして見積もりや、手配をしていました。通貨を間違えて痛い目に遭うこともありました。

2003年のユーロへの通貨統合で一部の通貨を除き、大半の西ヨーロッパ諸国がユーロという通貨に変わり、私たちが通貨換算の呪縛からといてくれたような気がしました。ただ一方でこの通貨統合により、わが愛するスペインを初め、比較的物価の安いと言われた国々の物価はウナギ登りに上昇し、前だったら××××ぐらいで買ったのにな？なん

て思ったりもしたものです。

オペレーター業務に就いたころ、ヨーロッパ旅行の主流と言えば、添乗員付きの団体旅行。そして今でいうFITの主流は学生の卒業旅行のイメージが強く、大半はアジア系航空会社で南回りやロシア系の格安航空券とユースホステルの会員登録で旅立つ若者が多かったと思います。

ヨーロッパ各国の観光スポットも90年代半ばから次々と予約制を敷くところが増え、予約のために行程を組み替えたり、加えて、市内の交通規制が敷かれるようになり、パーキング代、市内へ入るためのレジストレーション代やら、また新たに制定された旅行業法も重なり、入社したころに比べ、頭を使うことが多く、煩雑になり、業界の流れを感じました。

こういった要因とは別に、旅のスタイルに大きな変化をもたらしたこととしてインターネットの登場があります。インターネットの登場はどの業界にとっても大きな変革をもたらしましたが、旅行業もその一つと言えます。

お客様はご自分の旅行についていろいろ検索されますから、ともしればカウンターなどお客様と接するスタッフよりも何十倍も詳しくなっています。以前に比べ、団体旅行を避け、自分だけの旅のスタイルを求めるお客様が増え、インター



マドリード アトーチャ駅



ミラノ 中央駅

ネットを媒体とした予約産業も活発化してきました。各業界生き残りをかけ、策を立てています。

機械が発達し、OA化が進む一方で、旅行業界ほど最後までマニュアルな部分が残る業界のようにも感じます。

答えは簡単に出るものではありませんが、目に見えないものを売っているだけか大きな課題になっていくかだと思います。このあと、旅行業がどう変わっていくかわかりませんが、これからはかかわりながら行けたらと思っています。

今回は、No.412 橋本かおりさんにバトンタッチしたいと思います。

有志による 神戸応援ツアーに参加して

9月5日 ホテルオークラ神戸 泊

参加者 メンバー10名

「神戸」は私にとって特別愛着のある街。九州で過ごした幼年期、神戸・六甲道の叔母から送られてくるプレゼントはキャンデーも雑貨もどこか異国の匂いがして特別嬉しかった。長じて名古屋に住むことになってからは、年に何度も神戸に足を運び、近年は元町「リリー」(残念ながら今年初めに廃業)の服が私の定番となった。ところが、「南京町」「異人館」「布引」などはなぜか一度も足を運んだことがない。明石も通過するだけ。例の大震災以来なんとなく元気が無くなって残念と思っていたので「応援ツアー」と聞き迷わず参加した。

山と海が近い神戸の風景が大好きな私にとって今回の「布引」や「ホテルオークラ」からの景色そして明石でのフェリーの短い旅も満足。かつてよく足を運んだパン屋の「フロイドリーブ」が教会の敷地に大店を構えているのに驚いたり、イスラム教会を町角にみたり異国情緒は震災後も残っていることにほっとした。こう

いった神戸らしい雰囲気や空気はぜひとも残してほしいと願っている。明石では「菊水」でのアナゴを楽しんだだけでなく「魚棚」商店街で新鮮で京都錦市場よりはるかに安い鰻(骨切りしてあるもの)がよき土産になった。今回の企画の皆様、いろいろお手配ありがとうございました!

広報部の伊藤さんから、私が旅の途中にチョコチョコと描いていた絵ハガキを原稿とともに出してと言われた。高校の同級生のひとりが、私が落ち込んでいる時や病氣していた時、毎週スケッチはがき(例のよく見る絵手紙ではない)を送ってくれたことで救われた経験があり、お返しのもりで旅先から下手でも気持ちとスケッチはがきを彼女に送るようにしている。

風景をよく見ることになるので、たまには写真に代わってのスケッチもお勧めです。

木下弓子



2009/9/6 明石海峡大橋



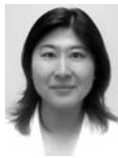
2009/9/6 神戸

★新入会員紹介★

会員 No.420

寺嶋 英理子

(株)オレンジマーケティングサービスジャパン



聞きなれない社名かもしれませんが、オレンジマーケティングジャパンは、ホテルオークラとリーガロイヤルホテルズによって昨年設立された会社で、私自身はオークラガーデンホテル上海のセールス活動を担当しております。この度、ご縁があって入会させていただきましたが、諸先輩方のお話を伺える貴重な機会に巡りあえたと非常にうれしく思っております。末長く、よろしくお願ひ申し上げます。

会員 No.421

三好 一美 バイロンエンタープライズ



はじめまして、三好一美と申します。JWTCに入会できうれしく存じます。旅行業は素人ですが、旅の企画に携わる機会があるため、先輩方よりご指導頂けたら幸いです。現在、ジュエリーなどビューティー関連ビジネス(www.pctula.jp)を運営する他、起業支援・教育を行う日本MITエンタープライズ・フォーラム(www.mit-ef.jp)の理事として活動しています。どうぞよろしくお願ひいたします。

会員 No.422

田中 恵理 京王電鉄株



このたびは、入会させていただき、誠にありがとうございます。鉄道会社に勤務して22年、運転士、車掌、駅員など女性の職域も増えましたが、まだまだ少数派です。広報部に所属させていただきましたので、皆さまのお話をお聞きし、勉強させていただきます、活力にしたい!と思っております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

会員 No.423

千葉 千枝子 (有)インペリアル・チエコ



このたび、お仲間入りさせていただきます旅行作家の千葉千枝子と申します。旅の仕事に携わる皆さまとご交流を図れますことを、とてもうれしく思っております。私は88年、大学を卒業後、銀行に入り、外銀を経て旅行会社に転職をしました。96年に独立し、現在は、運輸・観光全般に関する著述活動を行っています。女性力が求められる旅の現場にエールを送る、そんな活動をJWTCでは行いたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

30周年行事への協賛のお願い

本年2月に会員の皆様に協賛のお願いをしておりますが、随時受け付けておりますので、引き続きご協力をお願ひ申し上げます。

協賛金 一口 5,000円 (何口でも可)
銀行振り込みにてお願ひいたします
銀行名 三菱東京UFJ銀行 小岩支店
口座番号 普通口座 1772383
口座名 日本旅行業女性の会
会計担当 ホンダミチコ 本多美知子



先日「ベビーシッター研修」なるものを受けました。内容は育児の理論的な事柄で、人間の成長過程を知ることが、様々な仕事に通じると感じましたので紹介させていただきます。

赤ちゃんは、泣いたり、笑ったりしていても3歳までの記憶はほぼないそうです。でも、話しかけや笑いかけをしてもらえない子どもは脳が

発達せず、成長しなくなってしまった、という外国の記録もあります。また、記憶に残らなくても、家族旅行はとても大切で、家族揃って力を合わせる機会になります。

一方で、体の発達で大切なのは上腕筋です。上腕筋発達「ハイハイ」が原点です。1歳の立ち上がるまでにできるだけ長くほふくをすることは、背筋を鍛えるのにも役立つそうです。この頃の鍛え方が大人になってからの腰痛などに関係します。

昔の絵では、赤ちゃんを「小さくした大人」として描いていましたが、少しずつ「人間」の成長が分かってくると「不完全さ」が理解され、「ケア」したいという気持ちにつながります。潜在意識の中にそのような温かい気持ちがあるとすると、世の中って居心地がいいと感じることができそうです。

よいお年をお迎えくださいませ。(E. T.)



◆ 運営委員会だより ◆

□ 総務部 □

- JWTC 過去資料の整理と保管について
- 来年の総会についてスタイルを変える検討
- 総会が2010年2月27日(土)に決定

□ 事業部 □

- 第2回勉強会「シャングリラホテル」報告
- 第3回勉強会はテーマの関係で来年に延期

□ 会員部 □

- 新入会員 No.423 千葉千枝子様 (有)インペリアル・チエコ
- 12月11日のクリスマスパーティー「モンゴルの夕べ」について

□ 広報部 □

- ニュースレター Vol.29 No.3 は12月20日頃発行予定
- 勉強会等で撮影したデジカメ写真の保管について

□ 30周年プロジェクト □

- 過去の写真の整理を行った。15周年行事の写真が保管されていないので、お持ちの方はプロジェクトまで
- 30周年行事に名古屋支部の20周年を盛り込む検討

□ その他 □

- 2010年度の活動案と予算について
- 特別勉強会「働く女性のための食生活」報告

JWTC 総会のご案内

第30回総会を下記の通り開催します。

日時：2010年2月27日(土) 14時より

会場：東京ウィメンズプラザ(表参道)

*総会終了後、懇親会を予定しています。

詳細は追ってお知らせいたします。